

当院は東京都がん

診療連携協力病院（大腸がん・肝がん）です



東京都（部位別）がん診療連携協力病院とは、大腸がん、肝がん、肺がん、胃がん、乳がん、前立腺がんのいずれかにおいて、がんの集学的治療（手術・化学療法・緩和ケア等の複数の治療を組み合わせる治療）に積極的に取り組んでいる都内の医療機関に対して東京都が認定する制度です。

大森赤十字病院は、診療実績と充実した診療体制が認められ、平成25年4月1日付で「東京都大腸がん診療連携協力病院」として認定されました。平成27年度より認定基準が変更になり、新基準に適合する病院として平成27年4月1日付で改めて認定を受けました。

また、平成29年4月1日付で「東京都がん診療連携協力病院」部位追加指定として大腸がんの他に（肝がん）についても認定を受けました。



当院は、地域のがん医療水準の向上とともに、安心かつ適切ながん医療の提供を行うため、今後ともがん医療の一層の充実に努めてまいります。